

このたび、慢性疼痛高度医療人養成プログラムの第2期コース修了式が行われました。

2018年度後期の講義と、2019年度8月の体験型学習のワークショップの両方に合格した40名の学生に対して、三重大学では9月30日（月）に、鈴鹿医療科学大学では9月26日（木）白子キャンパスと10月3日（木）千代崎キャンパス、の2回に分けて、両大学のプロジェクトリーダーより、修了証が授与されました。

豊田長康鈴鹿医療科学大学学長からは、「通常のカリキュラムに加えてこのコースを修了した君たちは、その努力と成果に自信をもって医療者として人々の役に立って欲しい」と、丸山一男三重大学大学院医学系研究科教授からは、学生たちに向けて、「慢性の痛みを理解のある医療者の育成が社会に求

められている。痛みに対し理解のある医療者と

なり、卒業後広く社会で活躍して欲しい」とお話があり、学生一人ひとりに修了証書が手渡されました。

修了生からは、他大学・他学科の学生との共同学修で視野が広がった、後の学年の学生たちにもこのコースに参加してもらいたい、などの声が上がりました。修了生には今後の在学中も、痛みについての学修をさらに広げると共に、多職種連携チーム医療についても知識と体験を発展させてもらいたいと思います。そして、プロジェクトのサポートや他の学生たちの学修のけん引役となり、卒後の地域医療での活躍の原資とされていくことを期待します！！



三重大学 修了式

2019年9月30日



鈴鹿医療科学大学 修了式

2019年9月26日、10月3日

